

## <指導上のポイント>

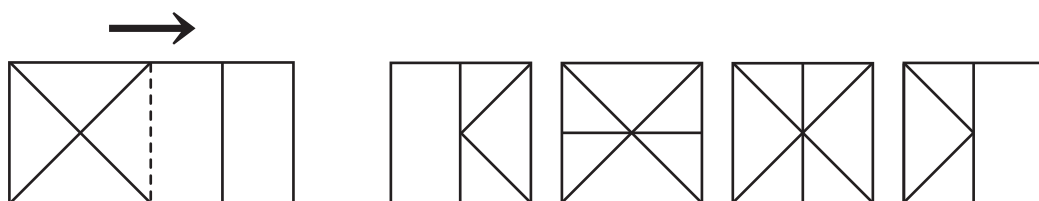
知性とは、自らの力で後天的に創るものであり、育てるものです。しかし、この考え方を理解できない保護者や教育者に育てられると、この「折り重なり図形」のような問題は苦手になります。

つまり、「折り重なり図形」の問題は、子供にとって正しく幼児教育が行われてきたかどうかをチェックできる問題の1つといえます。

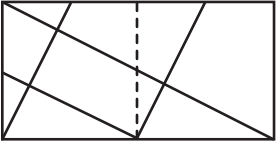
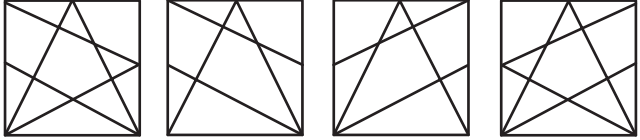
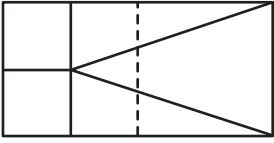
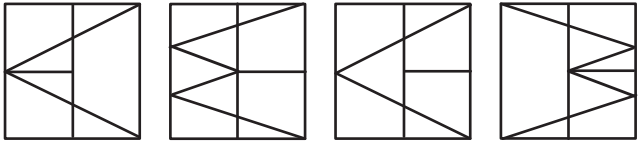
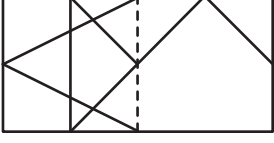
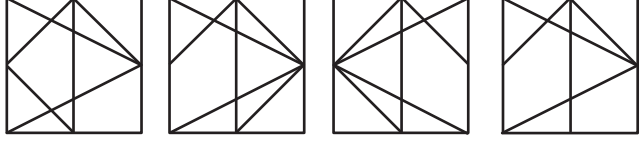
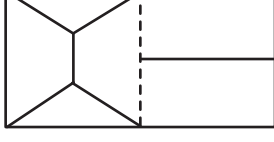
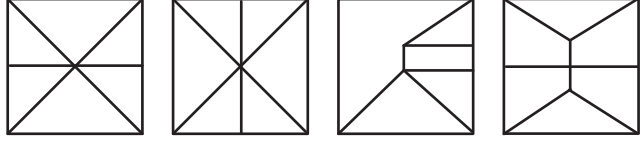
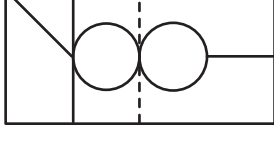

この「折り重なり図形」の問題は、能力育成問題集36「鏡絵」と14「重なり図形」を合わせたような問題です。ですから、「鏡絵」と「重なり図形」の問題ができれば、「折り重なり図形」も正しい答えを導き出せるでしょう。

ところで、この問題は左の形を右に書き写して解答を見つけたりしてはいけません。この問題は、思考力をチェックするための問題であり、解答のために図形を描き込んだりすると、思考力が育たなくなります。ただ答えが出ればよいというような指導方法ではなく、思考力が育つような方法で指導するようにしてください。

さて、解答方法ですが、左の図形の線は、右に鏡として映されるわけですから、右と左が合成された形の中に、左の図形の鏡となった線がないものは消したり、正しければあるはずだという仮定法を使いながら、正しい図形を見つけます。これらのことと同時に、左端と右の全ての問題を視野に入れるようにしながら、相違点に気をつけ、正しい答えを見つけます。

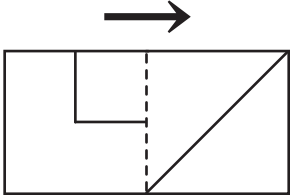
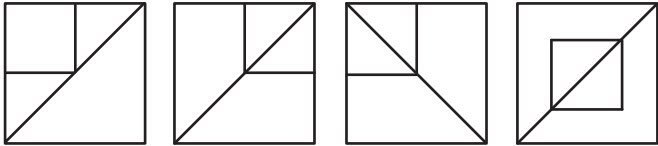
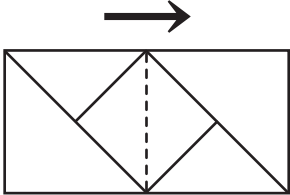
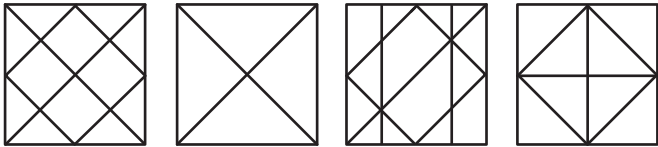
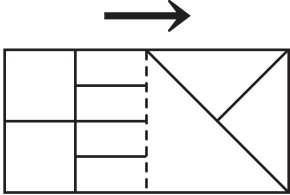
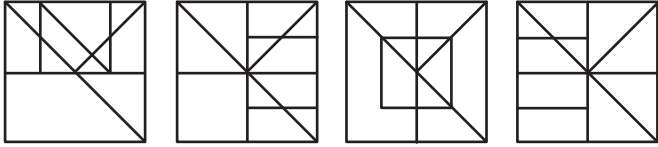
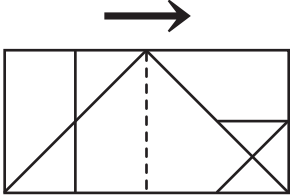
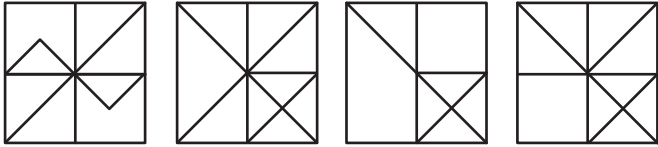
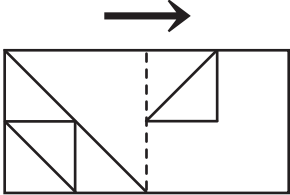
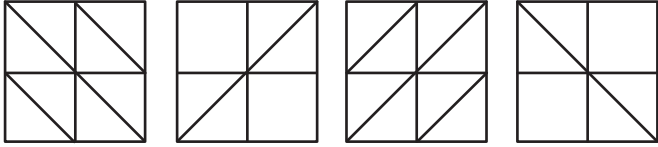


とうめいなビニールのうえにかかれた形を、点線のところで左から右に折りまげると、右のどの形になりますか。1つみつけて、○をつけなさい。

とうめいなビニールのうえにかかれた形を、点線のところで左から右にありまげると、右のどの形になりますか。1つみつけて、○をつけなさい。


とうめいなビニールのうえにかかれた形を、点線のところで左から右におりまげると、右のどの形になりますか。1つみつけて、○をつけなさい。

とうめいなビニールのうえにかかれた形を、点線のところで左から右におりまげると、右のどの形になりますか。1つみつけて、○をつけなさい。


とうめいなビニールのうえにかかれた形を、点線のところで左から右におりまげると、右のどの形になりますか。1つみつけて、○をつけなさい。


とうめいなビニールのうえにかかれた形を、点線のところで左から右におりまげると、右のどの形になりますか。1つみつけて、○をつけなさい。

